

# 教育実習の流れと準備と心構え

## 教育実習とは

- ・学校現場での教育実践を通じて、学生自らが教職への適性や進路を考える貴重な機会であり、教員免許状の取得には教育実習の科目を修得する必要があります。

(資料3 教職課程の改善・充実について(教職課程の改善・充実に関する協力者グループにおける検討) : 文部科学省)

- ・実施時期 : 6月、9月
- ・実習期間 : 2週間(高校免許)、3週間(中学免許)
- ・実習校 : 母校

## 実習前にやること

- ①実習予定校にアポを取る。(実習の1年前頃)

実習予定校のホームページを通して申し込みをしたり、直接電話をかけて実習を行いたいとの旨を伝える。

- ②実習予定校を訪問する。(実習の1年前の夏)

実習予定校を訪問し、実習の受け入れの可否の判断のため面接を受ける。

- ③実習校のオリエンテーションを受ける。(実習1～2週間前)

実習中の注意事項や実習前までにやっておくことの確認をしたり、指導教員と担当する学年や授業ついでの打ち合わせをする。

## 実習の準備と心構えについて

### ①生活習慣を整える。

教育実習の期間中は、朝早くなります。大学生活で早起きの癖がついていない人は、生活リズムを整えておきましょう。

### ②使用する教科書・問題集を入手する。

事前に教材研究するためにも、担当の学年で使用する教科書・問題集は入手しておきましょう。

(教科書は沖縄県教科書供給所や書店で入手することができます)

### ③自己紹介を考えておく。

教育実習の初日は、職員室や担当クラスで自己紹介をする機会が必ずあります。自己紹介は事前に考えておき、練習しておくといいです。また、HR のときのためにフリートークのネタを考えておきましょう。

### ④指導案や板書の練習をしておく。

高校の場合、実習期間が2週間と短いため、1週間目で授業を任せられる場合があります。また2週間目には研究授業もあります。指導案・板書の練習をしておく、余裕をもって実習に取り組むことが出来ます。琉球大学附属図書館で電子黒板が使えるので、ぜひ使ってみてはいかがでしょうか。

(<https://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/info/14048/>)

## 教育実習の登録条件

### ①卒業研究を履修中か履修済みでなければならない。

実習先に内諾を得たとしても、単位不足で卒業研究が履修できない場合は教育実習にはいけない。

### ②教職に必要な授業を履修済みか履修中でなければならない。

授業によっては、履修済みでなければならないものと履修中でも良いというものがあるので、所属の学部の教職の手引きを確認しておくこと。

(理工学研究科 数学系 M1)